

# 平成 17 年基準 消費者物価指数

## 東京都区部 平成22年 8 月分(中旬速報値)

### 1 概況

- ~~~~~
- (1) 総合指数は平成17年を100として98.9となり、前月比は0.4%の上昇。前年同月比は1.0%の下落となった。
- (2) 生鮮食品を除く総合指数は98.6となり、前月比は0.2%の上昇。前年同月比は1.1%の下落となった。
- (3) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.4となり、前月比は0.2%の上昇。前年同月比は1.4%の下落となった。
- ~~~~~

図1 指数の動き

(平成17年 = 100)

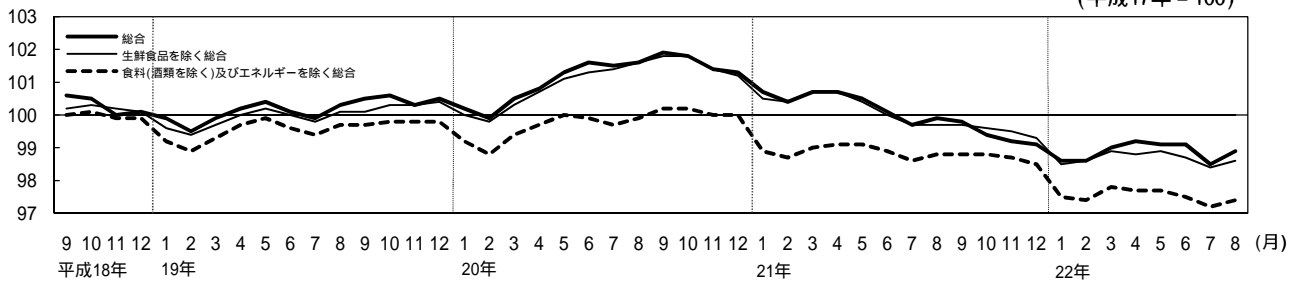


図2 前年同月比の動き

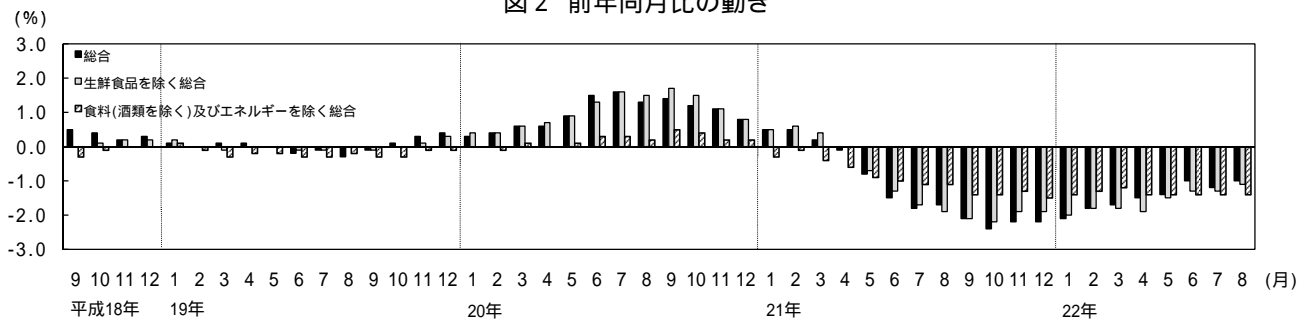


表1 総合,生鮮食品を除く総合,食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合の指数,前月比及び前年同月比  
(平成17年 = 100)

		平成21年					22年							
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
総合	指数	99.9	99.8	99.4	99.2	99.1	98.6	98.6	99.0	99.2	99.1	99.1	98.5	98.9
	前月比 (%)	0.2	0.1	0.4	0.2	0.1	0.5	0.0	0.4	0.2	0.1	0.0	0.6	0.4
	前年同月比 (%)	1.7	2.1	2.4	2.2	2.2	2.1	1.8	1.7	1.5	1.4	1.0	1.2	1.0
生鮮食品を除く総合	指数	99.7	99.7	99.6	99.5	99.3	98.5	98.6	98.9	98.8	98.9	98.7	98.4	98.6
	前月比 (%)	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.8	0.1	0.3	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2
	前年同月比 (%)	1.9	2.1	2.2	1.9	1.9	2.0	1.8	1.8	1.9	1.5	1.3	1.3	1.1
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	指数	98.8	98.8	98.8	98.7	98.5	97.5	97.4	97.8	97.7	97.7	97.5	97.2	97.4
	前月比 (%)	0.2	0.0	0.0	0.1	0.2	1.0	0.1	0.4	0.1	0.0	0.2	0.3	0.2
	前年同月比 (%)	1.1	1.4	1.4	1.3	1.5	1.4	1.3	1.2	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4

注) はマイナスを表す(以下同じ)。

## 2 東京都区部

### 2 前月からの動き

表2 10大費目指数，前月比及び寄与度

(平成17年=100)

指数	総合			食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く*	生鮮食品を除く食料	生食	鮮品	生鮮食品を除く食料									
指数	98.9	98.6	97.4	101.5	105.5	100.7	99.0	104.2	88.0	93.9	98.7	98.9	96.5	95.1	100.6
前月比(%)	0.4	0.2	0.2	0.7	4.8	0.1	0.0	0.8	0.5	1.5	0.2	0.7	0.0	1.8	0.0
寄与度	0.4	0.19	0.15	0.17	0.20	0.02	0.00	0.05	0.01	0.07	0.01	0.07	0.00	0.19	0.00

\* 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合(以下同じ)

注) 各寄与度は，総合指数の前月比に対するものである。

総合指数の前月比が0.4%の上昇となった内訳を寄与度で見ると，教養娯楽，食料，交通・通信，光熱・水道の上昇が要因となっている。

なお，被服及び履物などは下落した。

#### [主な内訳]

10大費目 中分類，前月比(寄与度)

品目，前月比(寄与度)

#### 上昇

教養娯楽 教養娯楽サービス 3.0%(0.20) …… 外国パック旅行 14.0%(0.12) など

食料 生鮮果物 14.6%(0.13)

交通・通信 交通 2.4%(0.08) …… 航空運賃 19.6%(0.07) など

光熱・水道 電気代 1.1%(0.03)

#### 下落

被服及び履物 シャツ・セーター・下着類 -2.4%(-0.03) …… 婦人セーター(半袖) -21.8%(-0.01) など

### 3 前年同月との比較

表3 10大費目の前年同月比及び寄与度

前年同月比(%)	総合			食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く*	生鮮食品を除く食料	生食	鮮品	生鮮食品を除く食料									
前年同月比(%)	(1.2)	(1.3)	(1.4)	(1.1)	(3.2)	(1.9)	(1.0)	(0.9)	(3.5)	(1.0)	(0.7)	(0.3)	(6.6)	(1.4)	(0.5)
寄与度	1.0	1.1	1.4	1.3	0.6	1.7	0.9	2.7	3.7	1.2	0.9	0.1	6.6	1.2	0.3
寄与度差	(1.2)	(1.25)	(1.00)	(0.27)	(0.12)	(0.41)	(0.26)	(0.05)	(0.09)	(0.05)	(0.03)	(0.03)	(0.32)	(0.14)	(0.03)
寄与度差	1.0	1.06	1.00	0.32	0.02	0.35	0.24	0.16	0.10	0.05	0.04	0.01	0.32	0.13	0.02
寄与度差	0.2	0.19	0.00	0.05	0.10	0.06	0.03	0.10	0.01	0.00	0.01	0.02	0.00	0.01	0.01

注) ( )は，前月の前年同月比及び寄与度。各寄与度は，総合指数の前年同月比に対するものである。

総合指数の前年同月比が1.0%の下落となった内訳を寄与度で見ると，食料，教育，住居，教養娯楽，家具・家事用品などの下落が要因となっている。

なお，光熱・水道は上昇した。

#### [主な内訳]

10大費目 中分類，前年同月比(寄与度)

品目，前年同月比(寄与度)

#### 下落

食料 調理食品 -2.6%(-0.07) …… カツレツ -8.6%(-0.01) など

教育 授業料等 -10.0%(-0.35) …… 公立高校授業料 -98.5%(-0.20)

私立高校授業料 -23.2%(-0.16) など

住居 家賃 -0.8%(-0.19) …… 民営家賃(木造中住宅) -1.0%(-0.01) など

教養娯楽 教養娯楽用耐久財 -19.5%(-0.08) …… テレビ(薄型) -33.0%(-0.02) など

家具・家事用品 家庭用耐久財 -6.2%(-0.04) …… 電気冷蔵庫 -23.2%(-0.01) など

#### 上昇

光熱・水道 電気代 4.3%(0.10)

## 参考1 財・サービス分類の前年同月比及び寄与度

	総合	財							サービス				
		生鮮食品 を除く財	農畜産物	水産物	工業製品	うち耐久 消費財	電気・都市 ガス・水道	出版物	サービス	公 サービス	共 サービス	一 般 サービス	うち 外 食
前年 同月 比 (%)	( 1.2)	( 1.3)	( 1.8)	( 1.4)	( 2.5)	( 5.8)	( 0.9)	( 0.3)	( 1.1)	( 1.7)	( 0.8)	( 0.1)	( 0.7)
	1.0	1.2	1.4	0.1	2.4	6.3	3.0	0.2	1.0	1.7	0.7	0.1	0.7
寄与度	( 1.2)	( 0.54)	( 0.68)	( 0.09)	( 0.69)	( 0.16)	( 0.04)	( 0.01)	( 0.64)	( 0.22)	( 0.36)	( 0.01)	( 0.03)
	1.0	0.50	0.53	0.01	0.66	0.17	0.15	0.00	0.58	0.22	0.32	0.01	0.03
寄与度差	0.2	0.04	0.15	0.10	0.03	0.01	0.10	0.00	0.06	0.00	0.05	0.00	0.00

注) ( )は、前月の前年同月比及び寄与度。各寄与度は、総合指数の前年同月比に対するものである。

## 参考2 前月比で上昇・下落幅の大きかった項目(中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前月比(%)		中 分 類	前月比(%)	
1	生鮮果物	14.6	1	教養娯楽用耐久財	2.6
2	教養娯楽サービス	3.0	2	シャツ・セーター・下着類	2.4
3	交通	2.4	3	履物類	1.6
4	生鮮野菜	2.1	4	衣料	1.4
5	生鮮魚介	2.0	5	乳卵類	1.3

## 参考3 前年同月比で上昇・下落幅の大きかった項目(中分類)

上 昇			下 落		
中 分 類	前年同月比(%)		中 分 類	前年同月比(%)	
1	他の光熱	10.9	1	教養娯楽用耐久財	19.5
2	生鮮果物	7.8	2	授業料等	10.0
3	電気代	4.3	3	家庭用耐久財	6.2
4	補習教育	2.6	4	保健医療用品・器具	6.1
5	ガス代	2.4	5	家事用消耗品	4.6

## 参考4 総合指数の前年同月比に対する寄与の大きかった項目(中分類)

上 昇				下 落			
中 分 類	寄与度	前年同月比 (%)		中 分 類	寄与度	前年同月比 (%)	
1	電気代	0.10	4.3	1	授業料等	0.35	10.0
2	生鮮果物	0.07	7.8	2	家賃	0.19	0.8
3	ガス代	0.04	2.4	3	教養娯楽用耐久財	0.08	19.5
4	補習教育	0.03	2.6	4	教養娯楽用品	0.07	3.6
5	自動車等関係費	0.02	0.5	4	調理食品	0.07	2.6

## 前年同月比の下落幅の縮小に寄与した主な項目(中分類) 注1)

	前月	今月
生鮮果物	1.0%(0.01)	7.8%(0.07)

## 別掲 注1)

石油製品 注2)	5.9%(0.06)	4.4%(0.05)
エネルギー 注3)	2.0%(0.11)	3.8%(0.20)

注1) 数値は、前年同月比及び括弧内は寄与度。主要品目については15ページの追加参考資料を参照。

注2) 石油製品：プロパンガス、灯油、ガソリン

注3) エネルギー：電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油、ガソリン

< 追加参考資料 > 主要品目の前年同月比及び寄与度（エネルギー・耐久消費財など）

[ 総合指数の前年同月比の変動に寄与した項目 ]

- ・生鮮食品を除く総合の前年同月比の下落幅は0.2ポイント縮小。（7月 1.3% 8月 1.1%）
- ・ガソリンなどの上昇幅が縮小したものの、都市ガス代の前年同月比が1年2か月ぶりにプラスに転じ、電気代の上昇幅が拡大。エネルギーにより総合の下落幅が0.09ポイント縮小。
- ・生鮮食品を除く食料により総合の下落幅が0.06ポイント縮小。
- ・携帯電話通送料により総合の下落幅が0.02ポイント縮小。
- ・航空運賃により総合の下落幅が0.02ポイント縮小。

表1 エネルギー構成品目の前年同月比及び寄与度

	万百分比 ウエイト	平成22年7月		平成22年8月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
エネルギー	506	2.0	0.11	0.8	3.8	0.20	0.09
電気代	247	2.2	0.05	1.1	4.3	0.10	0.05
都市ガス代	159	-0.6	-0.01	1.1	2.5	0.04	0.05
石油製品	100	5.9	0.06	-0.8	4.4	0.05	-0.02
プロパンガス	7	1.8	0.00	0.0	1.8	0.00	0.00
灯油	9	11.4	0.01	-0.3	10.9	0.01	0.00
ガソリン	84	5.6	0.05	-0.8	4.0	0.03	-0.01

表2 耐久消費財の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万百分比 ウエイト	平成22年7月		平成22年8月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
家庭用耐久財	91	-6.0	-0.04	-0.8	-6.2	-0.04	0.00
教養娯楽用耐久財	102	-17.7	-0.08	-2.6	-19.5	-0.08	-0.01
テレビ（薄型）	24	-32.7	-0.02	-3.4	-33.0	-0.02	0.00
パソコン（デスクトップ型）	12	-27.4	-0.01	-7.0	-31.4	-0.01	0.00
パソコン（ノート型）	19	-21.1	-0.01	-6.1	-22.2	-0.01	0.00
カメラ	10	-35.1	-0.01	-4.3	-36.6	-0.01	0.00

表3 交通・通信，教育及び教養娯楽の主な品目の前年同月比及び寄与度

	万百分比 ウエイト	平成22年7月		平成22年8月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
航空運賃	35	-8.2	-0.03	19.6	-3.4	-0.01	0.02
携帯電話通送料	166	-1.3	-0.02	0.0	0.0	0.00	0.02
高速自動車国道料金	16	-3.4	-0.01	0.0	-3.4	-0.01	0.00
自動車	43	-0.5	0.00	0.0	-0.5	0.00	0.00
外国パック旅行	71	3.2	0.03	14.0	4.0	0.04	0.01
宿泊料	102	-0.6	-0.01	7.3	-0.9	-0.01	0.00
公立高校授業料	20	-98.5	-0.20	0.0	-98.5	-0.20	0.00
私立高校授業料	65	-23.2	-0.16	0.0	-23.2	-0.16	0.00

注）「私立高校授業料」の変動には，高校授業料無償化以外の授業料等の改定分も含む。

表4 総合指数の前年同月比に対する食料の寄与度（魚介類，野菜・海藻，果物を除く）

	万百分比 ウエイト	平成22年7月		平成22年8月			
		前年同月比(%)	寄与度	前月比(%)	前年同月比(%)	寄与度	寄与度差
生鮮食品を除く食料	2059	-1.9	-0.41	-0.1	-1.7	-0.35	0.06
穀類	196	-3.1	-0.06	-0.3	-2.7	-0.06	0.01
肉類	171	-1.9	-0.03	0.0	-2.0	-0.04	0.00
乳卵類	97	-0.1	0.00	-1.3	0.7	0.01	0.01
油脂・調味料	87	-2.0	-0.02	-0.7	-1.3	-0.01	0.01
菓子類	188	-1.9	-0.04	-0.5	-1.9	-0.04	0.00
調理食品	263	-3.8	-0.11	1.1	-2.6	-0.07	0.03
飲料	129	-3.3	-0.04	-0.6	-3.4	-0.04	0.00
酒類	115	-1.7	-0.02	-0.6	-1.8	-0.02	0.00
外食	617	-0.1	-0.01	0.0	-0.1	-0.01	0.00

< 寄与度及び寄与度差について >

寄与度は総合指数の変化率に対してどの程度寄与したかを示したものである。

寄与度は実数ウエイトを使用し，次の計算式によって算出している。

$$\text{品目Aの寄与度} = \frac{\left( \frac{\text{当期の品目Aの指数} - \text{前期の品目Aの指数}}{\text{前期の総合指数}} \right) \times \frac{\text{品目Aのウエイト}}{\text{総合のウエイト}}}{\text{前期の総合指数}} \times 100$$

各品目の寄与度は小数第3位を四捨五入し，小数第2位まで表章している。そのため，足し上げても上位類の寄与度とは必ずしも一致しない。

寄与度差は小数第4位まで持った寄与度により計算し，小数第3位を四捨五入して小数第2位まで表章している。そのため，当月と前月の寄与度を差し引いても寄与度差と一致しないことがある。

図1 総合指数の動き

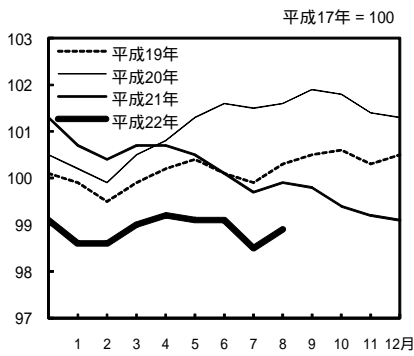


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

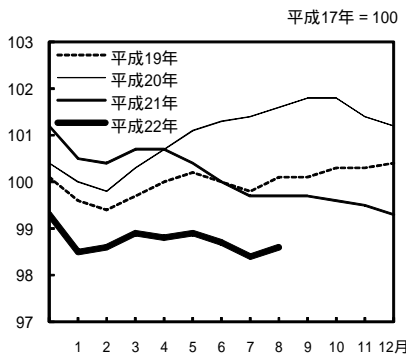


図3 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の動き

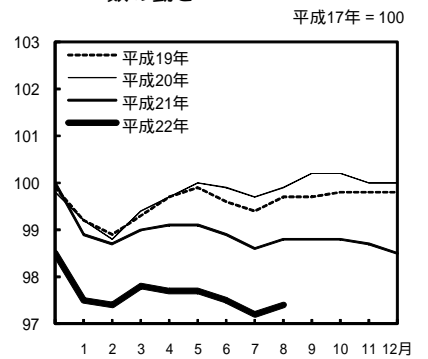


図4 電気代指数の動き

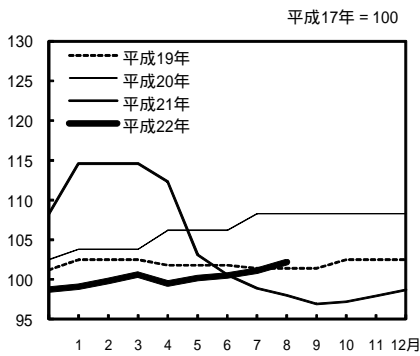


図5 ガソリン指数の動き

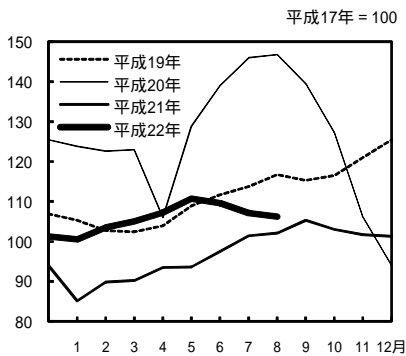


図6 生鮮食品を除く食料指数の動き

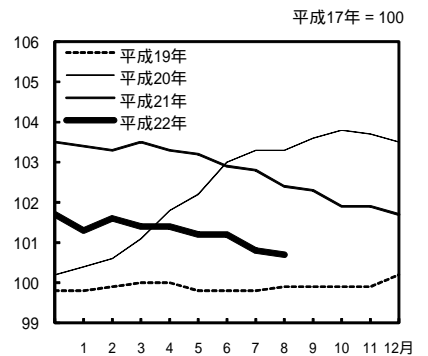


図7 総合指数の前年同月比に対する寄与度の変化

